

誰も教えてくれなかった足の外科 [Web 動画付] NIKI メソッドによる治療戦略

仁木久照・著

評者 山本晴康

(愛媛大学名誉教授/
千葉・柏リハビリテーション病院病院長)

B5 判・304 頁
2025 年 3 月
定価：13,200 円
(本体 12,000 円+税 10%)
ISBN978-4-260-05743-1
医学書院 刊



日本足の外科学会理事長の仁木久照先生が教科書『誰も教えてくれなかった足の外科』を出版された。副題は「NIKI メソッドによる治療戦略」である。仁木先生が聖マリアンナ医科大学整形外科科学講座主任教授を退職されるのに合わせて出版された。メンターがいなかった先生が患者さんの足から学び、創意・工夫を凝らし、切り開いてきた「足の外科」の集大成である。

ばらばらとページをめくると、写真、図が多く、文章が少なく余白があり、読む気を起こさせる。ポイントを示すため、文字の色を変えたり、字体を太字にしたり、下線も引いたりして、文意を理解しやすい。図・写真は明確で、ポイントの部分に矢印があり、Web 動画で理解を深めることができる。このように、読者の立場から本書は成り立っている。

内容は第1章「足部の痛み・変形のみかた—SOSを見逃さない」、第2章「足の外科手術を成功させる戦略」、第3章「一筋縄ではいかないケース」の3章から構成されている。仁木先生はこれまで、扁平足の生力学的研究、ばね靱帯の破綻から進行する扁平足の臨床研究、関節リウマチの足趾変形に対する関節温存手術、先天性内反足に対する Ponseti 法のアキレス腱皮下切腱術後のアキレス腱の再生など世界的研究をされ、足の外科をリードされてきた。これらの研究が行われた基盤である病態の解明、治療法の開発をベースとして、これらの3章は成り立っている。

それぞれの章では症例を提示し、その症例が持つ課題に対してどのように考えて理解し、どのような方法で解決するかという NIKI メソッドが示されている。第1章では、痛みと変形について診断へのアルゴリズムを提示し、症例を供覧して画像、動画で理解を深めさせてくれる。第2章では人工距骨併用人工足関節全置換術、外反母趾、関節リウマチ足趾変形、progressive collapsing foot deformity(進行性扁平足)などについて、症例を供覧し、術前の作図、術中の所見を普通写真、透視画像、動画で精緻に説明し、手術のコツと落とし穴など手術を成功させる秘訣も述べ、あたかも手術に立ち会い、仁木先生から直接説明を受けているように手術手技を理解できる。第3章は、仁木先生の戦略的思考が最もよく理解できる章である。一筋縄ではいかない症例を、問題点を分析し、どのような方法で解決するかという先生の思考の流れがよく理解でき、素晴らしい結果に感嘆する。

本書で取り扱われている疾患は限られているが、いずれもよく遭遇し、治療に悩む疾患である。取り上げられていない疾患も、「NIKI メソッドによる治療戦略」をマスターすれば対処できるのではないかと考えられる。

読者の方々にはこの素晴らしい教科書をメンターとして、患者さんに多大な裨益をもたらすとともに、足の外科をさらに発展させていただければと期待したい。